科目名			担当教員	
特講・福祉心理学９ （コミュニティ心理学）			田中　究	
科目コード	単位数	スクーリング単位	履修方法	配当年次
FT2609	1	1	S（講義）	1 年以上
生成 AI 利用レベル		試験（スクーリング含む）　：　C		

※この科目の会場スクーリングは隔年開講予定です。2026 年度の開講後は 2028 年度開講予定です。
※受講希望者はスクーリング申込締切日までに履修登録とスクーリングの申込みが必要です。

科目の概要

■科目の内容

多くの心理療法や心理学は「個人」をベースとしますが、コミュニティ心理学は「個人とコミュニティ、システムとの関わり」に関心を持ちます。ですから、専門家であってもコミュニティの一員としてできることはなにか？と考えてアプローチします。本スクーリングでは、個人と環境をセットでとらえるコミュニティ心理学独自のスタンスについて、基礎的な理解を目ざしたいと考えています。

■到達目標

１）コミュニティ心理学の特色を説明できる。
２）コミュニティ心理学の発想は心理療法や心理的支援においてどのように活かされているか説明できる。
３）コミュニティ・アプローチと伝統的な個人心理療法の差異について説明できる。

■学位授与の方針（ディプロマポリシー）との関連

とくに「主体的協働力」を身につけてほしい。

■教科書・参考図書

【教科書】

（スクーリング時の教科書）

スクーリングにあたって、教科書は使用しません。
※配本はありません。

【参考図書】

山本和郎著『コミュニティ心理学』東京大学出版会、1986 年、植村勝彦、高畠克子、箕口雅博、原裕視、久田満編『よくわかるコミュニティ心理学』ミネルヴァ書房、2012 年、田中究著『心理支援のための臨床コラボレーション入門』遠見書房、2021 年

■スクーリング講義内容

回数	テーマ	内容
1	イントロダクション	コミュニティ心理学と伝統的個人療法の比較
2	コミュニティ心理学の歴史	コミュニティ心理学の歴史と特徴

3	危機介入	危機介入の理論と方法
4	コンサルテーションと予防	コンサルテーションと予防の理論と方法
5	システムへのアプローチ	システム理論の概要とシステムズ・アプローチ
6	ブリーフセラピーによるアプローチ	ブリーフセラピーの理論と方法
7	コミュニティ・アプローチの実際	スクールカウンセリング等における活用例
8	質疑応答	講義内容についての質疑応答
9	スクーリング試験	講義内容の理解度を問う試験

■講義の進め方

配付資料をもとに穴埋め作業をしながら進めます。板書、パワーポイントなどを用います。

■スクーリング　評価基準

授業へ参加の程度 50%＋スクーリング試験 50%（持込可、論述式）

スクーリングへの参加度と最終時限に実施する試験結果とをあわせて総合的に評価します。

オンデマンド・スクーリングでは、スクーリング試験 100%で評価します。

■スクーリング事前学習（学習時間の目安：5～10 時間）

参考図書を読了後に授業にのぞむと、授業内容がよりよく理解できると思います。

■スクーリング事後学習（学習時間の目安：20～25 時間）

配付資料、参考図書等を用いてさらに理解を深めてください。また関心領域の自己学習や講義内でふれるアプローチの各論に目を向けてもいいでしょう。